

みみタロウ

日本語版 ☆ 1 4 7 号 2023 年 4 月

滋賀県国際協会ボランティアグループ「みみタロウ」

住所：大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海 2F

Tel : 077-523-5646

E-mail : mimitaro@s-i-a.or.jp

URL : https://www.s-i-a.or.jp

Facebook : https://www.facebook.com/siabiwako



と は こ たち 飛び跳ねよう、子ども達！

今回みみタロウは、「滋賀 コンドウ テコンドー アカデミー」のコンドウ イサムさん、ヒッタさんご夫妻にお話を伺いました。



6年前、
ブラジルで
歯科医だっ
た夫と
建築家だっ
た私は
仕事を
中断し、そ

れぞれ京都と名古屋の大学に留学。当時8歳と2歳の子も達、日本人の姑も一緒に来日し、一家で彦根で暮らしています。昼間は大学、夜間は工場であるバイト、睡眠は電車の中という留学生活を送った後、日本が大好きになった子ども達のためにも、安心して住めるこの町に残ることにしました。今は夫婦で工場で働きながらテコンドーを教え、夫は日本の歯科医資格取得のための勉強も続けています。そして時間を見つけては家族で旅行をしたり、湖畔でゆったりした時間を楽しんでいます。

私たちはブラジルで、いつも家族でテコンドーを楽しんできました。来日後も続けようと思いを抱いて探しましたが近くに見つからず、それで自分たちで教室を始めることにしました。夫がブラジルで指導資格を持っていたので、それを国際師範資格に書き換え、教室を日本テコンドー連盟に登録して、地区大会、全国大会、国際大会にも出場しています。現在、長浜、彦根、東近江の三教室に、ブラジル人を中心に2歳から15歳の約70名の子ども達が練習に汗を流しています。

自分たちの趣味から始めた教室ですが、外国人の子ども達の状況に接し、この教室を運営する大切さを痛感しています。多くの外国人の子どもは言葉と文化の違いから日本の学校への適応が難しく、他の子どもとの違いを過剰に意識して委縮したり、自分をいつもよそ者のように感じて寂しい思い

をしています。家では、パソコンや携帯、ゲームなどデジタル機器を相手に何時間も費やして、適切な運動を行っていません。こうした習慣が体や心、感情面に悪影響を及ぼすことで、情緒不安定で無気力な子どもになり、将来も心配です。このような中、子ども達がテコンドー教室で手足を思いっきり伸ばして心身ともに元気になってほしい、というのが私たちの願いです。このため、子ども達が参加しやすい時間帯や料金で教室を運営し、練習の前後には遊びの時間を設けていつでも子ども達の悩みの相談にのっています。「交流、尊重、秩序」が私たちのスローガン。休憩時間には「手足を動かすの、気持ちいいね」と子ども達の弾んだ声が響き、学校の先生や親からは「子どもが落ち着きました」という声もいただきます。

祖国を離れて暮らす私たちには、当然ながら沢山の困難がありますが、日本では学校も行政も様々な外国人支援を提供しています。ですから簡単ではありませんが、私たちも明確な目標と、そしてポジティブ思考を持って、それらを適切に利用しながら自らを整えなければなりません。また、子ども達には、「人生は戦いで、勝つ時も負ける時もある事、そして敗北してもそれを克服しなければならぬ」という事を教えることが大切です。箱の中で生きていくと、その中の風景しか見えません。だからこそ、箱を乗り越えて外の世界に接し、新しい知識を身につけて未知の世界への探検に乗り出さなければなりません。そのために子ども達には、将来、人生の戦いで必要となる健康な心と体を育みましょう。

テコンドーの競技大会では、子ども達は「負けるかも」とためらうこともあります。でも大会に参加して戦うだけで、もう心は金メダルなんです！



facebook